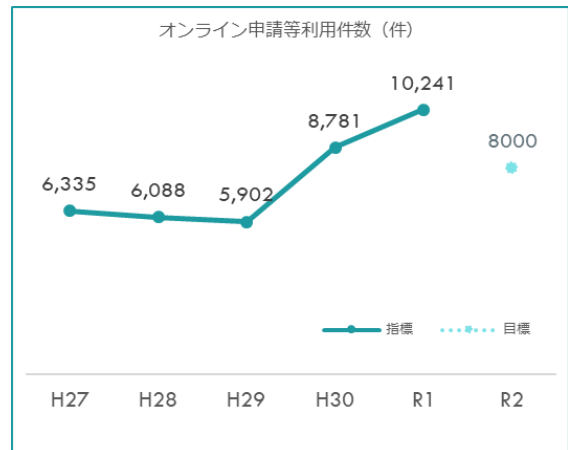
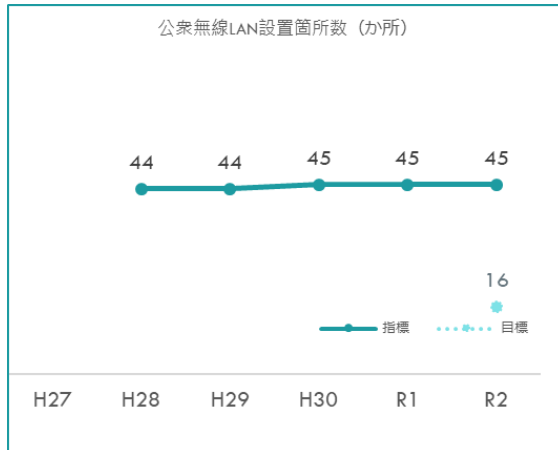


⑥ 地域情報化の推進 ≪評価：70.0点≫

市民意識調査結果

令和3年度市民意識調査は新（第3次）総合計画の体系により実施したためデータなし

施策成果指標



成果指標の妥当性

評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	2		3	2
市民委員意見	成果指標の設定は妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階では一つの良い指標なのではないかと思う。 ・ 公衆無線 LAN 設置箇所数は、いつか飽和状態となることが予想されるため、SNS 登録者数等を指標とする方が妥当ではないか。 ・ 他の指標への変更や追加の検討が必要ではないか。 					
	目標値の設定は妥当か	特に意見なし					

事業構成の妥当性

評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		4	3	2		3	2
市民委員意見	事業は施策の成果を上げるのに適しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ とてもよく考えられていると思う。 ・ 市民生活にどうつながるのが不明。 ・ 指標との関連性が不明。 ・ 課題として触れられている「オープンデータの公開」についての取組の必要性は？ 					

施策の有効性							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	2		3	3
市民委員意見	目標値の設定は妥当か	特に意見なし					
	指標分析は妥当か	・妥当と考える。					
進行年度の取組							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	3		3	3
市民委員意見	課題を把握しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請が普及した後、サーバーダウンなどのトラブル発生時の対応策が必要。 ・重要な施策であるが、市民委員からの質問が少ないということが問題。（市民への説明、周知不足） 					
	課題解決に向けての取組は妥当か	・市民と共にある情報化であって欲しい。					
翌年度の取組							
評価採点		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		4	3	2		3	2
市民委員意見	今後の取組は総合計画の目標とする姿に向かっているか	特に意見なし					
	取組は市民ニーズをとらえているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市の情報提供ツールである「びぜんnavi」、「Facebook」、「LINE」などを利用中の市民に対してアンケート調査を実施し、ニーズ等に合った活用を検討すべき。 					

市民委員から見た課題

- ・評価シートの記載内容は専門用語が多く、難しい。
- ・びぜんnaviでの情報発信について、仕方ない部分もあるが、コロナ関連の情報に偏り過ぎている。
- ・情報化等について理解している人、理解できない人との差が大きいため、その差を埋める方策の検討と分かりやすい周知方法が必要。
- ・インターネットが使えない方への対応。
- ・高齢者に対するの説明が不足している。
- ・高齢者はホームページを見ないので、広報の方法検討とデジタル化の将来像などイメージできる情報を出すべき。
- ・デジタル化は分散している情報を集中化する動きであることから、常にリスクを念頭に進めることが市民サービスとなる。

長期的に取り組むべき課題

- ・今後、高齢化が進むなか、どう高齢者の方と取り組んでいくか。（どうやって理解を深めるか）
- ・高齢者が便利と感じなければならない。市民が利便性を感じられるように進めるべき。
- ・デジタル化を進めていくにあたり、便利さの裏に影響を受ける分野がある。それらへの考慮と対策も必要。

委員会後の担当課対応

●課題として触れられている「オープンデータの公開」についての取組の必要性は？

⇒現在、オープンデータの活用等はできていない。岡山県に前向きな動きがあるので、動向を注視しながら遅れをとらないよう努める。

●高齢者が便利と感じなければならない。市民が利便性を感じられるように進めるべき。

⇒デジタルやインターネットに疎遠となりがちな高齢者も取り残さないよう、市民に安心感を与えながら、備前市のデジタル化を進めるよう備前市スマート自治体戦略（仮称）の策定に取り組みたい。また実行に当たっては、「利用者目線」を第一に考え、計画的にデジタル化を推進したい。

●市の情報提供ツールである「びぜんnavi」、「Facebook」、「LINE」などを利用中の市民に対してアンケート調査を実施し、ニーズ等に合った活用を検討するべき。

⇒市ホームページの公式SNS取りまとめページに、ご意見やご要望などを受け付ける場所を分かりやすく表示し、市民ニーズの把握、改善に努める。